

平成24年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100125	事業の開始年月日	平成22年10月1日
		指定年月日	平成22年10月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上永谷松風		
所在地	(234-0056) 神奈川県 横浜市 港南区 野庭町 240		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成24年8月12日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.jp/14/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&IteyosyoCd=1493100125-00&PrefCd=14&VersionCd=022
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人によってレクリエーション内容を取り入れて実施したり、ご本人様やご家族様のご希望に沿えるよう努力しております。また、市内で唯一お寺の敷地内の立地条件により季節による景色を鑑賞でき、季節感覚を保てるようになっておりご利用者様には人気があります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年9月13日	評価機関 評価決定日	平成24年10月4日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は横浜市営地下鉄上永谷駅から徒歩10分ほどの所に位置しています。近隣には新しい住宅が建ち並んでいますが、緑豊かな寺院の境内の一角にあるため屋内からは桜の花や紅葉も眺められ、利用者の楽しみの一つになっています。

<優れている点>

2年前の開所に向けて新築された2階建ての建物はリフト付き浴槽や車イスのまま入れる広いトイレ、身体機能の低下を補うエレベーターが備えられており、介護度の高い利用者の受け入れも可能になっています。また、医療連携加算を受けて看護師が健康管理を行っており、利用者・家族の安心につながっています。

<工夫点>

利用者の意向を大切にし、本人本位の支援を心がけています。レクリエーションは利用者がそろって同じ事を行うのではなく、個々の希望に応じて好きな物に取り組むことができるよう援助しています。初めての事にチャレンジする場合には、道具を新たに購入する場合があります。また、入所前と同じお米が食べたいと要望し、居室に炊飯器を持ち込んで炊いている利用者もいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上永谷松風
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員で決めた理念を継承しています。尚、理念については掲示し何時でも見られる様にしております。	ホーム長と職員が話し合っ「笑顔 安心 慈愛」という理念を作り上げ、事務室に掲示して日々確認しながら実践につなげています。開所から3年目に入るので、ホーム長は地域密着サービスの意義をふまえた新しい理念の作成も考えています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年町内会に加入し、参加できる範囲で町内会行事に出向いております。	地域住民の一員として町内会に加入し、回覧板の情報をもとに納涼会、落語会、清掃などの行事に参加しています。ホーム長は地域とのより強いつながりを求めており、運営推進会議などを通してホームの役割の周知や関係づくりに努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	H23年8月より実施に向けていた地域懇談会については残念ながら実施にいたらない状況下にあります。また、夜間想定避難訓練への呼び掛けをしておりますが、未だに参加者のいない状況でもあります。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、1回/2カ月の実施を継承しており、会議の場で施設内の活動報告等を話しております。	隔月で運営推進会議を開催し、直近の活動内容の報告等を行っています。また、地域に向けたホームの周知の方法、夜間想定避難訓練、福祉用具の不用品回収などについて参加者と話し合い、その結果を基に防災用品の備蓄に取り組んでいます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の案内や報告書の提出により毎月1回の訪問をしております。	ホーム長は運営推進会議の案内状や活動状況報告書を提出するため月1回港南区高齢者支援課を訪れ、担当者との接触に努めています。課題解決に向けて行政の協力が必要なケースでは、運営法人本部を通して市の担当窓口相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に会議を設置し、「身体拘束ゼロの手引き」を活用しカンファレンスを実施しています。	ホーム長は職員会議後にできる限り身体拘束廃止委員会を開催し、スタッフの相談に応じたり、意見交換を行うなどしています。また、自覚のない身体拘束や、そうした状況につながる言葉遣いに気が付いた時には、その場で注意を与えています。	安全や防犯などの点から止むを得ない面もあるとは思いますが、利用者が自分の意思で開けることのできない玄関等の施錠対応について工夫していく事も期待されます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的な会議の場で、虐待について話をすることもあります。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については、現在ご利用者の中で活用している方がおり、後見人の面会等で知識として得ていると思われるが、特に会議等で話をしている事はない。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居当日の際に時間を十分取り契約書及び重要事項説明書以外でも、主にご家族様の質疑応答の時間を取り不安解消へ努めております。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議同様に1回/2カ月の家族会実施をしております。参加者は徐々に減少傾向なので、議事録を作成し毎月郵送しております。	家族会開催や「意見書」配布によって家族意見の表明を促すとともに、ホーム来訪時には声かけをして要望等が言いやすいような雰囲気作りに努めています。また、ホーム苦情相談窓口および外部苦情申立て機関を重要事項説明書に明記しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議及び職員全体会議等で話し合っているが細かい意見や要望に対して対応できていない事もある。	主にフロア会議が職員の意見や提案を聞く場になっており、利用者の受け入れ等について話し合う事もあります。また、地域担当スーパーバイザーが月3回程度ホームを訪れて管理者と話し合い、必要な場合には職員意見を法人本部に伝えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	特別な設置はしていないが、必要に応じて話し合っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加できるよう声掛けをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内の勉強会に応じて参加し質の向上の取組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の訴えになるべく時間の許す範囲で傾聴し、ご利用者の意向を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族会や面会時などで、お話を傾聴するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実調において限りある時間内で聴き取りを実施している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事業務において、職員が一方的にするのではなく、ご利用者様と一緒に行うようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に於いては、電話対応時やご利用者様に関する事を報告し相談できるよう注意している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会以外にも、希望によりご利用者様から電話をしたりご家族様の電話を取りついたりしている。	市内全域の利用希望者を受け入れており、入所前の地域との関わりを全員について維持していくのは困難な状況ですが、友人が面会に訪れることもあり、その際には居室で楽しく過ごせるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや個々の嗜好に合わせた時間作りをしてご利用者様同士で会話ができるよう調整したりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在ではサービス終了に於いて又は退居理由により相談等を受けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様個々のニーズにより自己決定を促せるように環境を整えレクリエーションや食事・コミュニケーションを取っている。	ホーム長は契約前に利用希望者のもとに面接に赴き、アセスメントを行っています。また、職員は日々の係わりの中において、言葉ばかりでなく表情や動作に表れる利用者の思いや意向の把握に努め、職員ノートに記録して共有化を図っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実調に調査した基本情報をベースに把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のご利用者様により身体状況を把握し生活をしていけるよう調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なフロア会議等でカンファレンスをしている。	アセスメント、モニタリングに基づき、日々の係わりの中で把握した本人の希望等も参考に、介護計画を作成しています。職員意見もフロア会議で集約し、採り入れています。見直しは設定期間に従って行うほか、状況に応じて随時実施しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申送りノート等の活用で情報共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域行事や買い物、通院等で実施し取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	天候に合わせた外気浴等で支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居当日の際に説明をしご家族様においては納得され協力医療機関との訪問診療を受けている。また、身体状況により他医療機関への通院等をご家族様に相談し実施している。	入居時に協力医療機関がかかりつけ医となることを伝え、合意を得ています。また、医療連携加算に基づいて月4回看護師がホームを訪れ、健康管理を行っています。通院は原則家族対応ですが、都合がつかない時にはホーム長が対応をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師の訪問時において情報共有や相談・指導を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常にご利用者様に特変事項がある時には電話連絡し「報告・連絡・相談」を小まめに行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連絡やご家族様とのカンファレンスを実施し十分な相互理解ができるよう努めている。	入居時に看取りを希望する家族は多いのですが、書類確認はしていません。今年、初めての看取りを医師、看護師の協力を得て実現しました。スタッフの精神的負担は重かったものの充実感もあり、貴重な体験として今後に生かしていく方針です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置の訓練は整っていないが、緊急連絡先対応マニュアルを作成し職員に周知徹底している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や夜間想定避難訓練において地域との協力体制を確保できるよう努力している。	今年2度目の避難訓練を11月に予定しています。利用者に緊迫感を持ってもらうため、消防署と相談の上、予告なしの訓練を考えています。地域との協力体制の確保についても運営推進会議で話し合っています。備蓄は水、電池、毛布を揃えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けについては十分な配慮の上、接遇に気を付けて対応している。	トイレ誘導等の声かけは小声で行い、パットを取りに行く時は周囲に分らないよう配慮しています。調査当日、昼食を先に食べ出した人にはおだやかで適切な声かけで他の人に気づかれない様に対応していました。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の精神状態等に合わせて希望を傾聴し可能な範囲で実践している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや散歩・入浴等々ご利用者様の状態に合わせた声掛けをして支援できるよう努力している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪や衣類についてご本人様の希望により配慮している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前後にご利用者様の状態に合わせて家事作業を職員と分担し実践している。	献立は法人の栄養士がたて、食材は主に冷凍したものを使用しています。中毒を心配しての配慮とは思いますが、生ものは出さない、入居者がじかに食材を触るのは禁止など法人としての決まりがあり、食事を楽しむ面で不足が感じられます。	食事をより楽しいものにするため、たまには入居者の希望を聞いてサプライズメニューにしたり、ピザをとる、回転寿司に行く、みんなで焼きそばを作るなどの工夫も期待されます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立により意見が反映できるよう検食意見書を作成している。又、食事量や水分量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後及び、毎週金曜日に歯科医又は歯科衛生士の訪問等において口腔ケアに力を入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々により定期的に排泄誘導等を取り入れ状況把握に努めている。	入居時パット使用だった人が、職員の排泄パターン把握努力により布パンツになり、家族にも喜ばれています。他の利用者にも定時の誘導声かけ、体調や身振りを見ての随時の声かけを行っており、日中、夜間ともおむつを利用する利用者はいません。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や体操を取り入れているが、個々により緩下剤の服用を調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一定の入浴日程を決めているが、それ以外の曜日でも調整できるよう配慮している。	入浴は原則週2回ですが、希望にも応じています。入浴拒否の人には「湿布を張り替えよう」と誘ったり、介助員を男性から女性に変える等の工夫をしています。介護度4～5の人もリフト浴で対応しており、洗い場が広く介助も安全です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の身体状況や希望によりお部屋でも過せるよう声掛けしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師とも連絡を緊密にして状況により連絡し相談・対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	可能な範囲で買い物や散歩等で気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様の付添で外出をされたりとご家族様の協力を得られたりしている。日常的には職員の配置等で困難なところも伺える。	今年の夏は暑く、あえて散歩をしていないとのことですが、リビングに座りっきりの利用者も、買い物に行きたい、あんみつを食べに行きたいなど希望はあるようですが、十分な支援体制には至っていない様です。	家族からの要望の多い項目です。多くのホームは車を用意し、食材やおやつの買い物の同行、ドライブや季節ごとの花見など、外出をする仕組みと工夫が期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様の力量により買い物時に金銭のやり取りを実践し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙については実施していないが、電話に於いては施設設置の電話によりご家族様との交流ができるよう配慮している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング等に関しなるべく整理整頓が出来るよう配慮し対応している。	リビングはこじんまりとしていますが、整理整頓がいき届き、清潔です。2階の窓からの眺めは緑が多く、避暑地のような感じです。春は桜、秋は紅葉が居ながらにして楽しめるそうです。温度調整にはエアコンの他に扇風機も使っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	事実上建物の構造上困難である為必要最低限の環境を整備し対応している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の精神状態やご家族様の協力等で、落ち着いて過せるように配慮している。	南向きの居室、風通しの良い居室のどちらの窓からも緑がふんだんに望めます。収納家具、洗面台、ベッド、カーテンは備え付けてあり、利用者は仏壇、テレビ、大きなイス、時計などを持ち込んで住みやすい部屋にしています。どこも清潔です。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所等について必要最低限の張り紙で少しでも「出来る事」等の自立を促している。			

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上永谷松風
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員で決めた理念を継承しています。尚、理念については掲示し何時でも見られる様にしております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年町内会に加入し、参加できる範囲で町内会行事に出向いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	H23年8月より実施に向けていた地域懇談会については残念ながら実施にいたらない状況下にあります。また、夜間想定避難訓練への呼び掛けをしておりますが、未だに参加者のいない状況でもあります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、1回/2カ月の実施を継承しており、会議の場で施設内の活動報告等を話しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の案内や報告書の提出により毎月1回の訪問をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に会議を設置し、「身体拘束ゼロの手引き」を活用しカンファレンスを実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的な会議の場で、虐待について話をすることもあります。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については、現在ご利用者の中で活用している方がおり、後見人の面会等で知識として得ていると思われるが、特に会議等で話をしていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居当日の際に時間を十分取り契約書及び重要事項説明書以外でも、主にご家族様の質疑応答の時間を取り不安解消へ努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議同様に1回/2カ月の家族会実施をしております。参加者は徐々に減少傾向なので、議事録を作成し毎月郵送しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議及び職員全体会議等で話し合いを設けているが細かい意見や要望に対して対応できていない事もある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	特別な設置はしていないが、必要に応じ話をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加できるよう声掛けをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内の勉強会に応じて参加し質の向上の取組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の訴えになるべく時間の許す範囲で傾聴し、ご利用者の意向を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族会や面会時などで、お話を傾聴するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実調において限りある時間内で聴き取りを実施している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事業務において、職員が一方的にするのではなく、ご利用者様と一緒にを行うようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に於いては、電話対応時やご利用者様に関する事を報告し相談できるよう注意している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会以外にも、希望によりご利用者様から電話をしたりご家族様の電話を取りついたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや個々の嗜好に合わせた時間作りをしてご利用者様同士で会話ができるよう調整したりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在ではサービス終了に於いて又は退居理由により相談等を受けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様個々のニーズにより自己決定を促せるように環境を整えレクリエーションや食事・コミュニケーションを取っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実調に調査した基本情報をベースに把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のご利用者様により身体状況を把握し生活をしていけるよう調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なフロア会議等でカンファレンスをしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申送りノート等の活用で情報共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域行事や買い物、通院等で実施し取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	天候に合わせた外気浴等で支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居当日の際に説明をしご家族様においては納得され協力医療機関との訪問診療を受けている。また、身体状況により他医療機関への通院等をご家族様に相談し実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師の訪問時において情報共有や相談・指導を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常にご利用者様に特変事項がある時には電話連絡し「報告・連絡・相談」を小まめに行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連絡やご家族様とのカンファレンスを実施し十分な相互理解ができるよう努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置の訓練は整っていないが、緊急連絡先対応マニュアルを作成し職員に周知徹底している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や夜間想定避難訓練において地域との協力体制を確保できるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けについては十分な配慮の上、接遇に気を付けて対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の精神状態等に合わせて希望を傾聴し可能な範囲で実践している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや散歩・入浴等々ご利用者様の状態に合わせた声掛けをして支援できるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪や衣類についてご本人様の希望により配慮している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前後にご利用者様の状態に合わせて家事作業を職員と分担し実践している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立により意見が反映できるよう検食意見書を作成している。又、食事量や水分量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後及び、毎週金曜日に歯科医又は歯科衛生士の訪問等において口腔ケアに力を入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々により定期的に排泄誘導等を取り入れ状況把握に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や体操を取り入れているが、個々により緩下剤の服用を調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一定の入浴日程を決めているが、それ以外の曜日でも調整できるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の身体状況や希望によりお部屋でも過せるよう声掛けしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師とも連絡を緊密にして状況により連絡し相談・対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	可能な範囲で買い物や散歩等で気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様の付添で外出をされたりご家族様の協力を得られたりしている。日常的には職員の配置等で困難なところも伺える。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様の力量により買い物時に金銭のやり取りを実践し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙については実施していないが、電話に於いては施設設置の電話によりご家族様との交流ができるよう配慮している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング等に関しなるべく整理整頓が出来るよう配慮し対応している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	事実上建物の構造上困難である為必要最低限の環境を整備し対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の精神状態やご家族様の協力等で、落ち着いて過せるように配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所等について必要最低限の張り紙で少しでも「出来る事」等の自立を促している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所から3年目を迎えるにあたり、事業所理念の向上について現状のままになっており運営に対して有意義に対応していかなければいけないと課題として挙げられます。	現在の「笑顔・安心・慈愛」に対する理念を維持していきながら新たな理念を掲げていきます。	職員会議等で理念の作成にあたり職員と話し合い、新たな理念を作成して行きます。	2ヶ月
2	13	災害対策の一つである備蓄に関して、現在は停電時のライトや食糧とまだまだ乏しく不完全である。	地域とのコミュニケーションを図りながら備蓄品を揃えて行きます。また、定期的に夜間想定避難訓練や消防訓練を実施して行きます。	冬季に備え、防寒具や生活水用及び飲料水用と備蓄を整えて行きます。	4ヶ月
3	18	外出支援について職員の配置や計画の立案等に積極性が欠けているのも現実にあります。	二月に一回は外出支援を設けて行きたいと思えます。	誕生日や買い物について職員単独ではなくご利用者様と一緒に同行出来る様体制を整えて行きたいと思えます。	5ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。